

公的な機関が塾を取り入れるというのは、先生方にとってはどのような存在となるのか。教員は学ばせ方のプロであるのに、塾の先生に適わないのかと思う。役場がリードするべきものか、ということと理解できない部分もある。勉強するかしないは家庭学習の習慣性などが問題で、小学校低学年で決まるような気がする。教えるプロとして先生方は了承したのか。塾開講の詳細を伺いたい。

答 教育長 各小学校単位の座談会であるが、総合教育会議の中で、地域の方々の意見を伺いたいというのが開催理由である。来年度の明安小学校の入学が当初1名の予定であった。保護者にとつては非常に心配ではないかということもあり、地域の方々からの思いや考え方を聞きながら、今後の学校教育を検討すべきと思う。阿部教育委員長も、できるだけ様々な方々から意見をお聞きしたいということであった。委員がおっしゃる統合についてだが、現在の教育を充実させるにしても、



山形大学学習支援

現在寄せられる意見を尊重したいと思い、来年度も必要に応じて開催していきたい。今年度は参加人数が少なかつたが、広く意見を集約できる場にした。

学校で教員ががんばって授業をしていることと塾の導入の関係性について相反するのではないかとのお考えのようだが、中学校では学校独自で既に保護者の意見も踏まえ実施済みである。受験は独特のもので、教員だけががんばるよりも多面との協力での支援が重要であるという考えになっている。来年度の事業としては、実施期間は夏休み3日間、小・中学校

を対象に行う。中学校は2・3年生を対象に実施し、会場は中央公民館を予定している。夏休みということで学校を離れての学習機会として、興味関心や、向上心を高める機会としたい。小学校は低、中、高学年のクラス編成として、自由勉強含め、学習支援を実施していく。いずれも希望者が対象となる。

その他の質問

●ほ場整備の実現に向けた協議の継続について

流雪溝の水上がり対策を

矢口政一委員

問 新克雪モデル地域づくり計画に際し、今後除雪事業が行われていくと思われる。現在330近くの水路が流れ、大堰を含めた4路線が完全整備されていると出ている。今冬の水上がりの状況と町内では、水上がりの心配で眠れないという人もいたようだ。2号線の詰りも要因の一つらしいと聞いている。同じ箇所でも毎年繰り返される水上がりであれば、対応策が必



大雪で水上がり (28.1.19)

要ではないか。町民が困っていることがあれば、良い解決方法を検討していただきたいと思うが。

答 西田環境整備課長 1月18・19日の60cmの降雪があった際に、皆さんの一斉投雪により、町中心部が水上がりとなった。5町内の水上がりの状況確認を含め、今後の対応も併せて水利組合と協議した。有屋地区でも下向地区で水上がりがあった。区長会議の中で、水上がりには人災であるという意見が出された。自分だけ良ければという考えで改善は難しい。また当町は真室川町、大石田町と違い、昔から堰が発達してきた。これからも水

利組合、上流下流の地域がそれぞれ歩み寄りながら対応を図る必要がある。町長 水路については最上川水系では最上流に位置する。1月19日の積雪はかなりの量であり、5町内だけに限らず、有屋地域でも水上がりがあった。これまででない水上がりの状況になったと感じた。水が上がった時に水路が止められるかという、なかなか止められない。個々の自覚を高めていくことが町で暮らしていくマナーとなる。他の先進事例では投雪時刻の調整も有るが、新たに決めることは難しいと思う。投雪を一時的に控えるということを一斉に行うということが必要になるかもしれない。ダンブによる排雪作業も含め、教訓の事例としてどうすればできるか、未然に防ぐという意識の向上を図っていきたくと思う。担当課を中心に横断的に連携し、お願いしたい。

その他の質問

●診療所救急指定診療の休止について

●ナラ枯れの2次被害防止の事業展開

●プレミアム付き商品券発行補助について

●合併処理浄化槽設置整備事業の状況について

プレミアム商品券の発行補助率減額は

栗田保則委員

問 プレミアム商品券の発行補助について。27年度は30%のプレミアム付きで大変好評であった。この財源については、27年度は地方創生関連交付金を充当している。28年度に20%へ戻す経緯はどのようなものか。

答 高橋産業課長 従来の20%のプレミアム率で発行してきたが、27年度分は地方創生関連の交付金や町長の英断もあり30%にした経緯がある。28年度からは従来の20%へ戻すこととした。

町長 財源については担当課長が申し上げたとおりであるが、27年1月1日に町制施行90周年もあり、30%の率で発行することとした。28年度は従来の20%へ戻し2回の発行とさせていたのだが、今後は地域経済の循環の観点からもプレミアム率



プレミアム商品券販売

を上げることが検討していきたくも思っている。その他の質問

●町貸工場設置事業の雇用対策について

●長寿祝金の支給金額変更の経緯について

誘致企業の付帯設備について

寒河江宏一委員

問 町貸工場設置事業について。昨年の8月、10月の議会全員協議会において詳しい説明があった。12月の議会全員協議会では会社の方からの説明もあった。その際に、貸工場の建設には場所が良いと思うが、常設の冷凍庫も建物建設に含まれているとのこと。これらの機

械はメンテナンスや寿命がある。誘致した企業が使用するものであり、過疎債を利用し建設するものではないが、今後故障等で更新する際は再度町が設置することになるのか。またイメージ図などができあがっているのか。あれば伺いたい。

答 町長 貸工場は町が建設するが、加工用機械類は会社で導入するのが原則であると考えている。ただし冷凍庫、冷蔵庫は構造的にも建物と一体型で整備する必要があると考えている。企業を呼び込むための企業側のメリット感を打ち出すことも肝要である。過疎債は充当するが、7割が地方交付税で還元され残り3割の範囲内で使用料を設定する。

雇用者数の増や、販売品目の増も要望していき、様々なご意見もあると思うが、企業側が来たいと思う条件整備も必要と考えている。

佐藤総務課長 現在のところ、実施設計に入るところでイメージ図を広報等でお知らせできる段階ではない。しかるべき時



2つ目の貸工場建設予定地

にお示ししたい。冷凍、冷蔵庫の整備は一体化整備として過疎債を充当させていた。ただこれにしており、その設備だけで4900万円を超える金額となり、過疎債を充当しない場合、企業側の負担がそれだけ増えることになる。他の加工設備やショーウィンドウ等は企業側で設置していただく。

町長 第2貸工場とアキレスエアロン棟との大きな違いは本社工場ではないということ。町が初めての直営工場となり、将来性を考えれば大きな期待があると思う。ただし従業員数などもあり県の支援を受け入れられないケースとなる。こういった

たこともご理解いただきたい。企業から使用料をいただき、使用者負担にしていきたくと考えている。

その他の質問

●副町長の入居箇所や医師住宅等の利用状況について

●インクルーシブ教育の内容と目的は

たことご理解いただきたい。企業から使用料をいただき、使用者負担にしていきたくと考えている。

土屋副町長の退任所感と副町長人事について

柴田清正委員

問 土屋倫朗副町長には2年間幅広い見識と鋭い頭脳で町の発展へご尽力いただいた。どのような思いで町を見られていたか。

今後の副町長のあり方についてだが、町長、副町長のスケジュールを見ると大変忙しいものであり、1人でこなすのは大変である。最上管内でも最近では副町長を設置している町村が多いが。

答 副町長 この2年間の思いということであるが、市町村行政というのは初めてで、県庁での業務でも市町村と直接仕事をした経験があまりな



婚活パーティ

った。テーマという大げさだが、人口減少という問題があり、増田レポートから流れで地方創生という流れが来上がった時期で、こういった時に住民の方の生活やご意見を知る事を自らのテーマとしていた。在職中は課題が非常に身に染みてわかり、特効薬はないということ、コツコツ事業を継続していくことが大事だと感じた。金山町の副町長ということとで挨拶する場面では、特色あるまちづくりだと認識していただける機会が非常に多かった。

また町を訪れる方も多く、町民の方も金山町を好きだと感じる。大学との連携もひとつの要因で、町外からの来訪者も多い。学生と一緒に事業を実施することは大事で、最上管内には大学はないが、学生が溢れる町になって面白。また観光客対策として、おみやげや地

元食を食べる場所が少ないという問題もある。お金を使いたくって観光に出る。それらの課題はあるものの、金山町の今後の発展の可能性を感じている。

町長 全国育樹祭や過疎債指定の事前情報もあつたことなどにより、土屋副町長という県からスーパードライエスを送っていた。副町長がいなくなると、今後はまず管理職の方々に難儀をかけるが、副町長を配置しない形で取り組んでいきたい。副町長がいなくなるのは大きなことであるが、管理職と綿密な打ち合わせをしながら進めていきたい。

その他の質問

●結婚する機会の創出

●今後の農林業について町の考えは